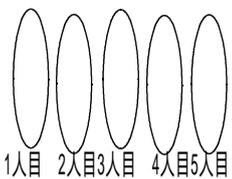


### 第3学年3組 算数科学習指導案

日時	6月27日(木) 第5校時	授業者	(ぐんぐんコース): 18人	場所	3年3組教室
単元名	わり算				
児童の実態	挙手発言は少ないが、練習問題に意欲的に取り組むことができる。中にはかけ算九九を間違えてしまう子もいる。ノートに自分の考えを書くことができなかつたり、みんなの前で自分の考えを発表することができなかつたりする子がいる。				
研究内容について	2-	練習問題に取り組む時間を確保し、確実に問題を解いていくことで学習内容の定着を図る。			
	3-	既習内容とつなげて話したり、既習用語を正しく使って説明したりすることができる、また、自分の考えたことを筋道立てて説明することができるようにする。			
本時のねらい	包含除の場面でも、答えはかけ算九九を使って求められることを理解し、除法の計算をすることができる。				
人権教育の観点	個々の考え方を認め合い、温かい雰囲気の中で学習することは、相手への共感的理解を深めることにつながる。(自己啓発力)				

#### 本時の展開 (4/11)

時間	過程	ねらい	学習活動	指導・援助 評価規準
0	つかむ	問題を読み、内容をとらえることができる。  本時の課題をつかみ、見通しをもつことができる。	1. 問題をつかむ。 クッキーが20こあります。1人に4こずつ分けると、何人に分けられるでしょう。 ・クッキーが20こあって、1人4こずつ分ける。 ・何人に分けられるか、聞いている。 ・式は $20 \div 4$ になる。  2. 課題をつかむ。 何人に分けるかが分からない時のわり算の答えのもともめ方を考えよう。	・問題の意味を考え、第1,2時の場面(等分除)と比べ、違いを理解させる。問題にある数字と全部の数、1人分の数、人数などをつなげ、全部の数 $\div$ 1人分の数 = 人数 とことばの式でも確認する。
8	考えをもつ	図やかけ算の式を使って、計算のしかたを求め、 $20 \div 4$ の答えは、 $4 \times \quad = 20$ のにあてはまる数であることに気づくことができる。	3. 自分の考えをもつ。 図で考える                      かけ算で考える   $1 \text{ 人分の数} \times \text{人数} = \text{全部の数}$ $4 \times 1 = 4$ $4 \times 2 = 8$ $4 \times 3 = 12$ $4 \times 4 = 16$ $4 \times 5 = 20$  4つずつ5人分                      答え 5人 $4 \times 5 = 20$ ・4の段の九九でもとめる。 だから $20 \div 4 = 5$ ・4の段の九九で20になるのは $4 \times 5$	・引き算を使うなどの多様な解決法を考えたことが予想されるが、等分除での学習をもとに、かけ算で求めることを中心にする。 ・掲示物やノートを参考に、前時の学習を振り返りながら、1人分では、2人分では・・・と20になるときの人数を求めればよいことを理解させる。 ・ $20 \div 4$ の答えは、 $4 \times \quad = 20$ のにあてはまる数であることを確認する。 ・りんご問題( $24 \div 6$ )で、6の段の九九で答えが求められることを確認する。
15	深める	自分の考えを、図、式と関連づけながら説明することができる。	4. 全体交流をする。 ・ $20 \div 5$ の答えは、 $4 \times \quad = 20$ のにあてはまる数で、4の段のかけ算九九を使えばいい。  5. 確認問題に取り組む。  6. まとめる。 何人に分けるかをもとめるわり算の答えも、わる数のかけ算九九を使ってもとめることができる。	・鉛筆問題①は全体で確認をし、かさの場面でも除法が使えることを確認する。 ・補助問題はプリントを用意し、各自で取り組むことができるようにする。
30	確かにする	練習問題で、本時の学習の理解を深める。	7. 練習問題、補助問題に取り組む。 ホップ (練習問題) 教科書 p 71 鉛筆問題① $18 \div 2 = 9$ 9本 鉛筆問題② ステップ (補助問題) 教科書 p 108 ② ジャンプ 算数の練習 p 47  チャレンジ 時間がある子はさらに問題に取り組む。	・かけ算九九を使って包含除の答えを求めることができる。 <技能>

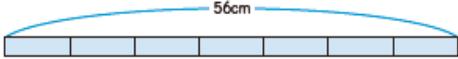
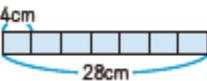
小単元	時	本時のねらい	主な学習活動	評価規準
1 1人分は何こ	1 イ	・具体的な操作活動を通して、等分除の意味を理解し、除法の式で表すことができる。	1. 問題を理解する。 いちごが12こあります。3人で同じ数ずつ分けると、1人分は何こになるでしょう。 ・問題場面を把握し、同じ数ずつに分ける問題であることを理解する。(手で操作する) 2. 課題をつかむ。 同じ数ずつに分けると、「1人分は何こ」かのもとめ方を考えよう。 3. 自分なりの考えをもつ。 ・おはじきや図を用いた操作活動。 トランプのように分ける。 ・ひき算でもとめる。 ・3の段のかけ算九九でもとめる。 4. 全体で考えを交流する。 ・表し方とその読み方を知る。 「÷」の記号と書き方を知る。 $12 \div 3 = 4$ 12わる3は4と読む。 ・「わり算」の用語とその意味を知る。 5. りんご問題を考える。 6. まとめる 同じ数ずつ分けるとき「1人分は何こか」をもとめるには、わり算を使ってもとめる。 7. 確かめる。 (じっくり)   (ぐんぐん) ・練習問題に取り組む。   ・練習問題に取り組む。 ・同じ数ずつに分ける場面を考える。 8. 振り返る。	<関心・意欲・態度> 分ける操作を、おはじきや図を使って意欲的に行おうとする。  <知識・理解> わり算の意味を理解し、わり算の式表示が分かる。
	2 イ	・等分除の場面では、答えは乗法九九を用いて求められることを理解し、除法の計算をすることができる。	1. 問題を理解する。 チョコレートが18こあります。6人で同じ数ずつ分けると、1人分は何こになるでしょう。 ・同じ数ずつにトランプのように分ける問題であることを理解し立式する。 $18 \div 6$ 2. 課題をつかむ。 1人分の数を求めるわり算の計算の仕方を考えよう。 3. 自分なりの考えをもつ。 ・ひき算でもとめる。 ・6の段のかけ算でもとめる。 4. 考えを交流する。 ・商が乗法九九を用いて考えることができることを理解する。 5. りんご問題を考える。 6. まとめる。 1人分の数を求めるわり算の答えは、かけ算九九を使ってもとめることができる。 7. 確かめる。 (じっくり)   (ぐんぐん) ・練習問題に取り組む。   ・練習問題に取り組む。 P108 - 2 8. 振り返る。	<数学的な考え方> 除法の商を、乗法九九をもとにして考えることができる。  <技能> かけ算九九を用いて商をもとめることができる。

小単元	時	本時のねらい	主な学習活動	評価規準
2 何人に分けられる	3 イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な操作活動を通して、包含除の意味を理解し、包含除の場面でも除法が用いられることがわかる。</li> </ul>	<p>1. 問題を理解する。</p> <p>いちごが12こあります。1人に3こずつ分けると、何人に分けられるでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>問題場面を把握し等分除との違いを考える。かたまりで分ける。(手で操作する)</li> </ul> <p>2. 課題をつかむ。</p> <p>何人に分けられるかを求める答えの見つけ方を考えよう。</p> <p>3. 自分なりの考えをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>おはじきや図を用いて操作活動を行う。</li> <li>ひき算でもとめる。</li> <li>3の段のかけ算九九でもとめる。</li> </ul> <p>4. 考えを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>かたまりで分けるときも、<math>12 \div 3 = 4</math>で表せることを確かめる。</li> <li>「わられる数」と「わる数」を知る。</li> </ul> <p>5. りんご問題を考える。</p> <p>6. まとめる。</p> <p>何人に分けられるかを求めるには、分け方がちがっても、同じ数ずつで分けるのであれば、わり算の式を使ってもとめることができる。</p> <p>7. 確かめる。</p> <p>(じっくり)   (ぐんぐん)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>練習問題に取り組む。</li> <li>練習問題に取り組む。</li> </ul> <p>8. 振り返る。</p>	<p>&lt; 数学的な考え方 &gt; 除法を用いて考えることができる。</p> <p>&lt; 技能 &gt; 包含除の場合にも除法の式が用いられることが分かり、式表示し、商を求めることができる。</p>
	4 ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>包含除の場面でも、答えは乗法九九を使って求められることを理解し、除法の計算をすることができる。</li> </ul>	<p>1. 問題を理解する。</p> <p>クッキーが20こあります1人に4こずつ分けると、何人に分けられるでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>問題場面を把握し、かたまりで分ける問題であることを理解し立式する。 <math>20 \div 4</math></li> </ul> <p>2. 課題をつかむ。</p> <p>何人に分けられるかを求めるわり算の計算の仕方を考えよう。</p> <p>3. 自分なりの考えをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>4の段のかけ算九九でもとめる。</li> </ul> <p>4. 考えを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>包含除の場面でも商が乗法九九を用いて考えることができることを理解する。</li> </ul> <p>5. まとめる。</p> <p>何人に分けられるかを求めるわり算も、わる数のかけ算九九を使ってもとめることができる。</p> <p>6. 確かめる。</p> <p>(じっくり)   (ぐんぐん)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>練習問題に取り組む。</li> <li>練習問題に取り組む。</li> </ul> <p>P 1 0 8 - 2</p> <p>7. 振り返る。</p>	<p>&lt; 数学的な考え方 &gt; 等分除の場合と比べ、図やかけ算九九を用いて計算の仕方を考えることができる。</p> <p>&lt; 技能 &gt; 包含除の除法で、かけ算九九を用いて商をもとめることができ、表記することができる。</p>

小単元	時	本時のねらい	主な学習活動	評価規準
2 何人に分けられる	5 イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な場面 の考察を 通して,等分 除と包含除 は式の形の上 で統合でき ることを理 解すること ができる。</li> </ul>	<p>1. 問題を理解する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">8 ÷ 2 = 4 になるお話をつくりました。2つのお話を, かけ算の式に表してくらべましよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2つの問題場面を把握する。 トランプのように分ける。かたまりで分ける。</li> <li>式化する。 ゆうと 8 ÷ 2 1人分をもとめる。 さくら 8 ÷ 2 いくつ分をもとめる。</li> </ul> <p>2. 課題をつかむ。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">「1人分はいくつ」と「何人に分けられる」のお話をかけ算の式に表してくらべてみよう。</p> <p>4. 自分なりの考えをもつ。 4 × 2 「1人分は4こ」の2人分 2 × 4 「1人分は2こ」の4人分</p> <p>5. 考えを交流する。 わり算の答えが何を求めているのか確かめる。</p> <p>6. まとめる。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">1つ分をもとめるときも, いくつ分をもとめるときも, どちらもわり算の式で表すことができる。</p> <p>6. 確かめる。 (じっくり)   (ぐんぐん) ・練習問題に取り組む。   ・練習問題に取り組む。</p> <p>7. 振り返る。</p>	<p>&lt; 関心・意欲・態度 &gt; 同じ所, 違うところを見つけようとする。</p> <p>&lt; 数学的な考え方 &gt; 2つの式の表す意味について考えることができる。</p>
3 0や1のわり算	6 ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>0をわったり, 1でわったり する計算の しかたを理 解し, 正しく 計算するこ とができる。</li> </ul>	<p>1. 問題を理解する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">箱に入っているケーキを, それぞれ3人で同じ数ずつ分けます。 1人分の数をもとめる式を書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>はじめにいくつあるのかわからない。</li> <li>ケーキの数が6こ, 3こ, 0この場合について考えることを知る。</li> <li>式化する。 6 ÷ 3 3 ÷ 3 0 ÷ 3</li> </ul> <p>2. 課題をつかむ。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">わられる数がわる数と同じときや, わられる数が0のときのわり算のしかたを考えよう。</p> <p>3. 自分の考えをもつ。 ・おはじきや図を用いて操作活動を行う。 ・3の段で考える。 3 × 2 = 6 3 × 1 = 3 3 × 0 = 0</p> <p>4. 考えを交流する。 りんご問題, 6 ÷ 1 を考える。</p> <p>5. まとめる。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">わられる数が0のとき, 答えは0になる。また, わる数が1のとき, 答えはわられる数と同じになる。</p> <p>6. 確かめる。 (じっくり)   (どんどん) ・練習問題に取り組む。   ・練習問題に取り組む。</p> <p>7. 振り返る。</p>	<p>&lt; 数学的な考え方 &gt; 被除数が0のときの商の意味について考える。</p> <p>&lt; 技能 &gt; 商が1になる除法, 被除数が0の場合や除数が1の場合の除法の計算ができる。</p>

小単元	時	本時のねらい	主な学習活動	評価規準
4 倍とわり算	7 イ	・ある数がもとのする大きさの何倍かを求める場合にも、除法が用いられることを理解する。	<p>1. 問題を理解する。</p> <p>18mのリボンは、3mのリボンの何倍でしょう。</p> <p>・何倍はかけ算で出てきた。</p> <p>2. 課題をつかむ。</p> <p>何倍かを求める時の答えの求め方を考えよう。</p> <p>3. 自分の考えをもつ。</p> <p>・3mずつ切っていく。(ひき算で)</p> <p>・<math>3 \times \quad = 18</math> (かけ算九九で)</p> <p>・3mずつ同じに分けるのだから <math>18 \div 3 =</math></p> <p>4. 考えを交流する。</p> <p>5. まとめる。</p> <p>何倍になっているかを求めるときにも、わり算をつかうことができる。</p> <p>6. 確かめる。</p> <p>(じっくり)   (ぐんぐん)</p> <p>・練習問題に取り組む。   ・練習問題に取り組む。</p> <p>7. 振り返る。</p>	<p>&lt;知識・理解&gt;</p> <p>ある数がもとのする大きさの何倍かを求めるには、除法を用いることを理解している。</p>
練習	8		・「わり算」に関する習熟問題に取り組む。	
5 答えが2けたになるわり算	9 イ	・何十を1位数でわって商が何十になる除法の計算原理や方法を理解し、計算できる。	<p>1. 問題を理解する。</p> <p>60まいのおり紙を3人で同じ数ずつ分けます。</p> <p>1人分は何まいになるでしょう。</p> <p>・式を考える。 <math>60 \div 3</math></p> <p>2. 課題をつかむ。</p> <p>何十をわる計算のしかたを考えよう。</p> <p>3. 自分なりの考えをもつ。</p> <p>・数図 <math>\quad</math> で考える。</p> <p>・10のいくつ分で考える。</p> <p><math>6 \div 3 = 2</math> 10が2こで20</p> <p>4. 考えを交流する。</p> <p>・線分図で考える。</p> <p>5. まとめる。</p> <p>十がいくつ分あるかを考えれば今までと同じようにかかけ算九九を使って答えを求めることができる。</p> <p>6. 確かめる。</p> <p>(じっくり)   (ぐんぐん)</p> <p>・練習問題に取り組む。   ・練習問題に取り組む。</p> <p>何百をわる計算も同様に考える。</p> <p>P 108 - ①</p> <p>7. 振り返る。</p>	<p>&lt;関心・意欲・態度&gt;</p> <p>何十のわり算を数図などを使って考えようとする。</p> <p>&lt;知識・理解&gt;</p> <p>何十を1位数でわる除法の計算原理や方法が分かる。</p>

小単元	時	本時のねらい	主 な 学 習 活 動	評 価 規 準		
5 答えが2けたになるわり算	10 イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>2位数÷1位数の計算で各位ごとにわり切れる場合の計算の仕方を考えることができる。</li> </ul>	<p>1.問題を理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">         63まいのおり紙を3人で同じ数ずつ分けます。          1人分は何枚になるでしょう。       </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>式を考える。<math>63 \div 3</math></li> <li>既習問題との違いを考える。</li> </ul> <p>2.課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">         何十何をわる計算のしかたを考えよう。       </div> <p>3.自分なりの考えをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>数図をかくて考える。</li> <li>60と3に分けて考える。  <math>60 \div 3</math>   <math>3 \div 3</math></li> </ul> <p>4.考えを交流する。</p> <p>5.まとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">         何十何をわるときは、何十と何にわけて位ごとに計算すればよい。       </div> <p>6.確かめる。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-right: 1px solid black; padding-right: 5px;">           (じっくり)            ・練習問題に取り組む。         </td> <td style="width: 50%; padding-left: 5px;">           (ぐんぐん)            ・練習問題に取り組む。            P 1 0 8 - 2         </td> </tr> </table> <p>7.振り返る。</p>	(じっくり) ・練習問題に取り組む。	(ぐんぐん) ・練習問題に取り組む。 P 1 0 8 - 2	<p>&lt; 数学的な考え方 &gt;</p> <p>被除数を何十と何に分けて計算の仕方を考えている。</p>
(じっくり) ・練習問題に取り組む。	(ぐんぐん) ・練習問題に取り組む。 P 1 0 8 - 2					
きほんのたしかめ	11 イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元における基礎・基本を確実にしたり、発展的な問題に取り組み、数学的な考え方をより深めたりすることができる。</li> </ul>	<p>1.「わり算」に関する基本的な問題に取り組む。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-right: 1px solid black; padding-right: 5px;">           (じっくり)            ・学習してきたことを繰り返し練習をし、基礎的・基本的な内容を身につける。         </td> <td style="width: 50%; padding-left: 5px;">           (ぐんぐん)            ・問題場面からの立式や計算、0や1のわり算が正しく速くできるように習熟を図る。         </td> </tr> </table> <p>2.単元を通して大切な考え方についてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>わり算は、かけ算九九を使って答えを求めることができる。</li> <li>0をわったときの答えは0になり、1でわったときの答えはわられる数と同じになる。</li> </ul>	(じっくり) ・学習してきたことを繰り返し練習をし、基礎的・基本的な内容を身につける。	(ぐんぐん) ・問題場面からの立式や計算、0や1のわり算が正しく速くできるように習熟を図る。	<p>&lt; 数学的な考え方 &gt;</p> <p>等分除，包含除の問題場面から根拠を明確にして立式する。</p> <p>&lt; 技能 &gt;</p> <p>乗法九九を使って速く正確に除法の答えを求めることができる。</p> <p>乗法九九を使って除法の答えを求めることができる。</p>
(じっくり) ・学習してきたことを繰り返し練習をし、基礎的・基本的な内容を身につける。	(ぐんぐん) ・問題場面からの立式や計算、0や1のわり算が正しく速くできるように習熟を図る。					

時 (まとめの言葉)	じっくりコース	ぐんぐんコース
<p>1</p> <p>同じ数ずつ分けるとき「一人分は何こか」をもとめるには、わり算を使ってもとめる。</p>	<p>P 6 7</p> <p> 15まいのおり紙を、5人で同じ数ずつ分けると、1人分は何まいになるでしょう。 式と答えを書きましょう。</p>	<p>算数の練習 P 4 4 (練習 1)</p>
<p>2</p> <p>1人分の数を求めるわり算の答えは、かけ算九九を使ってもとめることができる。</p>	<p>P 6 8</p> <p> 1 56cm のリボンを、7人で同じ長さに分けると、1人分の長さは何cmになるでしょう。</p>  <p> 2 (1) <math>35 \div 5</math>    (2) <math>48 \div 8</math>    (3) <math>28 \div 7</math>    (4) <math>42 \div 6</math></p>	<p>P 1 0 8  2 (1) ~ (8)</p> <p>算数の練習 P 4 5 (練習 2)</p>
<p>3</p> <p>何人に分けられるかを求めるには、分け方がちがっても、おなじ数ずつで分けるのであれば、わり算の式を使って求めることができる。</p>	<p>P 7 0</p> <p> 15まいのおり紙を、1人に5まいずつ分けると、何人に分けられるでしょう。 式と答えを書きましょう。</p>	<p>算数の練習 P 4 6 (練習 1)</p>
<p>4</p> <p>何人に分けられるかを求めるわり算の答えも、わる数のかけ算九九を使ってもとめることができる。</p>	<p>P 7 1</p> <p> 1 18Lの水を、2Lずつペットボトルに入れると、何本に分けられるでしょう。</p> <p> 2 (1) <math>14 \div 7</math>    (2) <math>63 \div 9</math>    (3) <math>25 \div 5</math>    (4) <math>72 \div 8</math> (5) <math>36 \div 9</math>    (6) <math>9 \div 3</math>    (7) <math>12 \div 2</math>    (8) <math>24 \div 8</math></p>	<p>P 1 0 8  2 (1) ~ (8)</p> <p>算数の練習 P 4 7 (練習 2)</p>
<p>5</p> <p>1つ分を求めるときも、いくつ分をもとめるときも、どちらもわり算の式で表すことができる。</p>	<p>P 7 2</p> <p> 3 テープが28cmあります。 3のように、<math>28 \div 4</math>の式になるお話を2つつくりましょう。</p>  	<p>算数の練習 P 4 8</p>

<p>6</p> <p>わられる数が0のとき、答えは0になる。また、わる数が1のとき、答えはわられる数と同じになる。</p>	<p>P 7 3</p> <p>1 □にあてはまる数を書きましょう。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border-right: 1px solid black; padding: 5px;"><math>1 \div 1 = \square</math></td> <td style="border-right: 1px solid black; padding: 5px;"><math>0 \div 1 = \square</math></td> <td style="padding: 5px;"><math>1 \div 1 = \square</math></td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px solid black; padding: 5px;"><math>2 \div 2 = \square</math></td> <td style="border-right: 1px solid black; padding: 5px;"><math>0 \div 2 = \square</math></td> <td style="padding: 5px;"><math>2 \div 1 = \square</math></td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px solid black; padding: 5px;"><math>3 \div 3 = \square</math></td> <td style="border-right: 1px solid black; padding: 5px;"><math>0 \div 3 = \square</math></td> <td style="padding: 5px;"><math>3 \div 1 = \square</math></td> </tr> </table>	$1 \div 1 = \square$	$0 \div 1 = \square$	$1 \div 1 = \square$	$2 \div 2 = \square$	$0 \div 2 = \square$	$2 \div 1 = \square$	$3 \div 3 = \square$	$0 \div 3 = \square$	$3 \div 1 = \square$	<p>算数の練習 P 4 9</p>
$1 \div 1 = \square$	$0 \div 1 = \square$	$1 \div 1 = \square$									
$2 \div 2 = \square$	$0 \div 2 = \square$	$2 \div 1 = \square$									
$3 \div 3 = \square$	$0 \div 3 = \square$	$3 \div 1 = \square$									
<p>7</p> <p>何倍になっているかをもとめるときにも、わり算をつかうことができる。</p>	<p>P 7 4</p> <p>1 ななさんは、物語の本を7さつ、お父さんは42さつ持っています。お父さんは、物語の本をななさんの何倍持っているでしょう。</p>	<p>算数の練習 P 5 0</p>									
<p>8</p> <p>練習問題</p>	<p>P 7 5 練習</p>	<p>算数の練習 P 5 2</p>									
<p>9</p> <p>十がいくつあるかを考えれば今までと同じようにかけ算九九を使って答えを求めることができる。</p>	<p>P 7 7</p> <p>1 (1) <math>90 \div 3</math>      (2) <math>80 \div 2</math>      (3) <math>70 \div 7</math></p> <p>P 1 0 8</p> <p>1 (1) <math>60 \div 2</math>      (2) <math>40 \div 2</math> (3) <math>40 \div 4</math></p>	<p>算数の練習 P 5 1 (練習 1)</p>									
<p>10</p> <p>何十何をわるときは、何十と何に分けて、位ごとに計算すればよい。</p>	<p>P 7 8</p> <p>3 旅行のおみやげで、48このまんじゅうを買ってきました。 友だちに4こずつ配ると、何人に配れるでしょう。</p>  <p>2 (1) <math>86 \div 2</math>      (2) <math>69 \div 3</math>      (3) <math>55 \div 5</math></p>	<p>算数の練習 P 5 1 (練習 1)</p>									
<p>11</p> <p>練習問題</p>	<p>P 7 9 きほんのたしかめ</p>	<p>算数の練習 P 5 3</p>									